平成23年度　施策達成度評価シート（平成22年度実績評価）

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
7	快適な都市機能	77	にぎわいのある市街地の形成

施策主管部	都市整備部	評価者（施策統括マネージャー）名	藤島裕久

1　施策の目的（目指す姿）

対象 （誰を，何を対象としているのか）	意図 （この施策により対象をどのように変えるのか）
既存市街地 太田，盛南，その他土地区画整理地区	都市基盤と拠点機能が整備された市街地が形成され，人がにぎわう

2　達成度

（1）成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22年度計画（年度目標値）	H22実績値	H23計画（年度目標値）	H26計画（最終目標値）
太田・浅岸・都南中央第三地区の土地区画整理地区の人口	人	↗	7,912	7,970	7,976	8,029	8,734
既存市街地内の整備された拠点施設数	棟	↗	8	8	8	8	9
西口・盛南地区の市街化率 （施行地区内人口/施行地区内の計画人口）	%	↗	51.70	55.30	55.50	59.10	69.90
西口・盛南地区の商業地域面積利用率 （利用済商業地域面積/商業地域面積）	%	↗	85.20	95.80	86.70	95.80	99.50
道明地区の人口	人	↗	－	－	707	707	722

（2）近隣自治体との成果水準比較

指標名	他自治体の状況等
太田・浅岸・都南中央第三地区の土地区画整理地区の人口	比較適性なし
既存市街地内の整備された拠点施設数	比較適性なし
西口・盛南地区の市街化率 （施行地区内人口/施行地区内の計画人口）	比較適性なし
西口・盛南地区の商業地域面積利用率 （利用済商業地域面積/商業地域面積）	比較適性なし
道明地区の人口	比較適性なし

3　達成度評価結果

取組内容と成果，成果を得られた要因	土地区画整理事業等の市街地整備事業に取り組んだことにより、都市における基盤整備や土地利用の促進において、一定の成果をあげている。
翌年度以降の課題，その要因	土地区画整理事業等については、計画区域全体の整備を行うことが必要とされるものであるが、厳しい社会経済状況の中で、事業進捗の目処が立ちにくい状況となっている。また、組合施行事業については、事業そのものの実施が危ういものとなっている。今後においては、事業の収束をどのように図るべきであるかを先例にとらわれず検討し実行していく必要がある。

平成23年度　施策達成度評価シート（平成22度実績評価・基本事業の状況）

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
7	快適な都市機能	77	にぎわいのある市街地の形成

基本事業	
コード	名称
771	既成市街地の再整備

施策主管部	都市整備部	評価者（施策統括マネージャー）名	藤島裕久

1　基本事業の目的（目指す姿）

対象 （誰を，何を対象としているのか）	意図 （この施策により対象をどのように変えるのか）
既存市街地及び太田・浅岸・都南中央第三地区の土地区画整理事業地区	土地と建物が再整備される。 宅地の利用増進が図られる。

2　成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22年度計画（年度目標値）	H22実績値	H23計画（年度目標値）	H26計画（最終目標値）
太田・浅岸・都南中央第三地区の土地区画整理地区の人口	人	↗	7,912.00	7,970.00	7,976.00	8,029.00	8,734.00
既存市街地内の整備された拠点施設数	棟	↗	8.00	8.00	8.00	8.00	9.00

平成23年度　施策達成度評価シート（平成22度実績評価・基本事業の状況）

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
7	快適な都市機能	77	にぎわいのある市街地の形成

基本事業	
コード	名称
772	都心を担う新市街地の整備

施策主管部	都市整備部	評価者（施策統括マネージャー）名	藤島裕久

1　基本事業の目的（目指す姿）

対象 （誰を，何を対象としているのか）	意図 （この施策により対象をどのように変えるのか）
西口・盛南・道明地区	都心機能の連続性と機能分担が図られる。

2　成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22年度計画 （年度目標値）	H22実績値	H23計画 （年度目標値）	H26計画 （最終目標値）
西口・盛南地区の市街化率 （施行地区内人口/施行地区内の計画人口）	%	↗	51.70	55.30	55.50	59.10	69.90
西口・盛南地区の商業地域面積利用率 （利用済商業地域面積/商業地域面積）	%	↗	85.20	95.80	86.70	95.80	99.50
道明地区の人口	人	↗	－	－	707	707	722